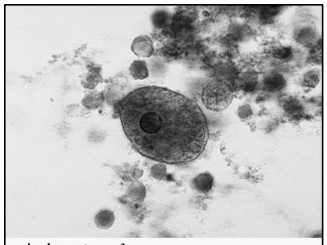
山口県感染症発生週報 （第42週：平成23年10月17日～10月23日）

1 全数把握感染症

【2類感染症】
◆**結核**：第41週追加：1例（下関）。第42週：2例（柳井、長門）。
【5類感染症】
◆**後天性免疫不全症候群**：第41週追加：1例（宇部）。
◆**アメーバ赤痢**：第42週：1例（長門）。


赤痢アメーバ　CDC/Dr. George Healy

2 定点把握感染症（5類感染症）

(1)特記事項

◆**インフルエンザ**：患者発生報告が、柳井、岩国、周南からありました。迅速検査では、A型陽性39例、臨床診断10例でした。
◆RSウイルス感染症：依然として過去4年間の同時期と比較して多い状況で推移しています。全国的にも例年と比較して多い状況ですので注意が必要です。
◆**感染性胃腸炎**：増加傾向が見られます。特に周南では急増し、今週警報レベルの開始基準値を上回りました。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので今後の動向に注意が必要です。
【警報レベル＝周南】※
◆**手足口病**：今期は大流行しましたが、先週県全体として警報レベルの終息基準値を下回りました。今週警報レベル継続地域は長門のみとなりました。
【警報レベル＝長門】※
◆**伝染性紅斑**：長門は過去4年間の同時期と比較して4年ぶりに多い状況が続いています。
【警報レベル＝長門】※
◆**流行性耳下腺炎**：下関ではやや多い状況がみられます。
【注意報レベル＝下関】※
◆**マイコプラズマ肺炎**：報告数が多い状況です。全国的にも例年と比較してかなり多い状況で、マクロライド耐性菌の報告がありますので注意が必要です。（詳細は国立感染症研究所のHPをご確認ください。URL:http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3814.html）

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuiho.php

(2)週別発生状況

疾患名	40週	41週	42週	疾患名	40週	41週	42週
インフルエンザ	27	14	49	百日咳	1	0	0
RSウイルス感染症	41	49	37	ヘルパンギーナ	17	10	29
咽頭結膜熱	16	6	7	流行性耳下腺炎	43	30	44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	70	69	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	226	292	354	流行性角結膜炎	1	3	4
水痘	34	12	45	クラミジア肺炎	0	0	1
手足口病	111	65	50	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	15	19	15	マイコプラズマ肺炎	13	12	16
突発性発しん	30	35	33	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	23	24	2	0	0	0	0	0	49
RSウイルス感染症	7	2	5	5	1	2	8	7	0	37
咽頭結膜熱	0	2	0	0	1	3	0	0	1	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1	2	12	3	21	2	6	13	69
感染性胃腸炎	30	36	3	180	11	27	54	4	9	354
水痘	17	2	3	3	9	7	3	1	0	45
手足口病	8	7	2	12	5	6	1	6	3	50
伝染性紅斑	0	0	0	2	0	3	1	9	0	15
突発性発しん	10	2	2	3	3	5	3	3	2	33
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	2	1	0	12	6	4	3	0	1	29
流行性耳下腺炎	32	3	1	6	0	2	0	0	0	44
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	2	0	0	0	0	1	1	0	0	4
クラミジア肺炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	5	5	0	2	1	1	1	1	0	16
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※平成23年11月8日に追加報告がありましたので、データの一部を修正しました。

山口県感染症情報センター（山口県環境保健センター内）
電話：083-922-7630　FAX：083-922-7632
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/